

その症状、認知症？

…「てんかん」かもしれません

てんかんは身近な病気の一つです。

100人に1人の罹患率とも言われています。

小児だけでなくむしろ60歳以上の方で多く発症します。

その為、認知症や老化と混同されることもしばしばあります。

適切な服薬により7割の人が通常の生活をおくることが
できますが3割程度は発作のコントロールが困難な難治
てんかんとなります。

当院では服薬でコントロール可能な患者様はもちろん手
術の必要な難治てんかんまで幅広く診療可能です。



こんな症状はありませんか？

ご相談下さい

顔手足の
けいれん

フラフラ
歩き回る

口をもぐ
もぐする

一瞬意識が
なくなる

脱力し
倒れる

検査内容

- 長時間ビデオ脳波
- 頭蓋内電極留置による脳波検査
- 脳波・MRI
- 救急脳波
- 糖代謝PET(千葉療護センター)
- WADAテスト(言語・記憶部位固定)



担当医 脳神経外科部長 ^{にいむら かく} 新村 核

【専門】脳神経外科一般／てんかん／アンチエイジング／認知症予防

【資格】医学博士／日本脳神経外科学会専門医・指導医／日本てんかん学会専門医／日本脳卒中学会専門医・指導医／日本脳卒中の外科学会技術指導医／日本抗加齢医学会専門医(アンチエイジング学会専門医)／認知症予防専門医

【てんかん診療の経歴】小児てんかんのPET画像の研究(ウエイン州立大学小児病院)・てんかん外科に従事(国立精神・神経医療研究センター)

【その他】テレビ医療監修多数有

202010/5診察開始 ご予約受付中

診察 第1・3・5月曜日午後

セコメディック病院